

## 財務の概要

### 平成22年度決算の特徴

#### 1. 経営方針の維持

経営方針である「借入金に依存しない健全経営」「将来に備えての現保有資産(現預金)を確保」を維持しました。

#### 2. 収入超過の維持

帰属収入は、約71億円となりました。帰属収入から基本金組入約4.2億円を差し引いた消費収入は66.8億円となりました。消費収入の内から消費支出に約63億円をあてまして、約3.8億円の収入超過となり、今期も収入超過を維持しました。

#### 3. 学生のニーズに対応した施設設備の整備

学生生徒の安全衛生面に配慮し、施設設備の整備を自己資金で行いました。

#### 4. 大学創立50周年記念館建設の準備

(仮称)阪南大学創立50周年記念館建設のため、積立を開始いたしました。今期4億円を阪南大学創立50周年記念館建設引当特定資産として積立しました。

#### 5. 金融資産の安全運用

金融資産(積立金、現金預金)は、現金預金のみで安全に運用し、運用に関する損失や含み損は、一切発生していません。引き続き、現金預金のみで運用を行います。

### 資金収支の概要

資金収支計算書は、学校法人阪南大学における平成22年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と平成22年度の支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金をいう)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

#### < 収入 >

- ・学生生徒等納付金収入(59億5,654万円)

学生・生徒からの授業料、施設費、入学金等を計上しています。

学納金は、入学してから卒業するまで同額です。(スライド制は適用していません。)

- ・手数料収入(1億228万円)

手数料収入の主なものは入学検定料収入です。入学志願者は、大学院25名、学部5,324名、高校2,080名でした。

- ・寄付金収入(1,096万円)

高校PTA等からの寄付金を計上しています。

- ・補助金収入(6億3,615万円)

国庫補助金収入は、2億2,833万円で、大部分が大学の経常費補助金です。

地方公共団体補助金収入は、2億9,525万円で、大部分が高等学校及び同中等部に対する経常費補助金です。

授業料軽減補助金収入は、高等学校の授業料に対する補助金で1億1,255万円を計上しています。

#### < 支出 >

- ・人件費支出(41億7,177万円)  
専任教職員等給与、退職金等を計上しています。
- ・教育研究経費支出(11億6,809万円)  
ITを活用した教育環境の整備経費、キャリア支援経費等を計上しています。
- ・管理経費(3億7,748万円)  
学生募集経費、法人の運営経費等を計上しています。
- ・施設関係支出(1,251万円)  
大学建物床滑り止め工事他工事費を計上しています。
- ・設備関係支出(8,088万円)  
機器備品(3,559万円)、図書取得(4,528万円)を計上しています。
- ・資産運用支出(15億183万円)  
特定資産への繰入分を計上しています。減価償却引当特定資産へ5億円、施設設備整備引当特定資産へ5億円、退職給与引当特定資産へ1億円、大学創立50周年記念館建設引当特定資産へ4億円を繰入しました。

### 消費収支の概要

消費収支計算書は、平成22年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものです。消費収入から消費支出を差し引いた額を当年度消費収入超過額といい、3億8,062万円を計上しました。翌年度繰越消費収入超過額は126億3,762万円となりました。

### 貸借対照表の概要

平成23年3月31日時点の学園の財産状態を示しています。資産の部合計は、前年度に比べて7億4,837万円増加となりました。負債については、借入金はゼロですが、平成23年度入学者に係る入学手続き金(前受金)が含まれています。資産から負債を引いた額(正味財産)は、463億709万円となりました。

(金額は千円以下を切り捨て表示しています。)

